

第2954回例会 令和7年1月23日(木)

出席委員会委員長	早川 比呂太
会員総数	19名
本日の出席者(免除者)	13名(1名)
本日の出席率	76.4%

会長あいさつ

会長 鈴木泰光 君

先日、笠井先生が第2630地区の伊勢度会RCへ訪問された際にバナー交換されたそうですので、ご報告します。この絵馬のようなバナーは初めて見ました。私も機会があれば是非メーカーキャップに行ってきたと思います。

日曜日に西尾マラソンがあり、我がクラブの久米君は残念ながら棄権でした。私の自宅付近でも沿道にボランティアや応援の方もいて、アットホームなマラソン大会だなという印象でした。本日お越しの牧さんは豊橋の方で、以前豊橋市をロケ地とした「陸王」というドラマもありましたよね。せっかくの地元でのマラソン大会ですので応援していきたいと思います。

今週のスマイル

親睦委員長 久米健史 君

地区RYLA委員会 副委員長 牧岳大君(豊橋ゴールデンRC)

本日、卓話の機会をいただきありがとうございます。つたない話となるかと思いますがよろしくお願ひ致します。

鈴木泰光君 地区RYLA委員会 牧副委員長、本日の卓話よろしくお願ひします。

牧野美恵君 地区RYLA委員会 牧副委員長、ようこそ西尾一色RCへ。卓話よろしくお願ひします。

鳥居萬里君 地区RYLA委員会 牧岳大君、ようこそ西尾一色RCにお越しいただきました。RYLAについていろいろ教えてください。

神谷 林君 牧君の卓話、楽しみに聞かせてもらいます。

早川比呂太君 牧副委員長、本日はよろしくお願ひします。クインさん、ようこそ一色へ。

田中三千雄君 牧岳大君、よろしくお願ひします。

渡邊 徹君 地区RYLA委員会 牧様、本日は卓話よろしくお願ひします。池田宣明君、ようこそ西尾一色RCへ。今後ともよろしくお願ひします。

尾崎三枝子君 牧岳大君、ようこそ西尾一色RCへ。そして池田宣明君、入会おめでとうございませう。

藤井知明君 牧岳大君、ようこそ西尾一色RCへ。新入会員、池田宣明さんよろしくお願ひします。

池田宣明君 本日からよろしくお願ひします。

久米健史君 第3回西尾マラソンがありました、ひびきを悪くしてリタイヤでした。

12件 26,000円

本日の卓話

「青少年の育成における地区RYLA委員会の役割」

地区RYLA委員会 副委員長 牧 岳大 君



皆様、スクリーンをご覧ください。R・Y・L・A、この4文字、何と読みますか？また、何の略かご存じでしょうか？西尾一色RC様は田中さんがRYLA委員会に出向なされているので、田中さんから聞いてるよという会員さんも多いかなと思いますが、私のクラブ

同様、入会して間もない会員の方もいらっしゃると思うので、丁寧に説明いたします。「ライラ」と呼ぶこの言葉は、ロータリーのR ユースのY リーダーシップのL アワーズのA、これらの頭文字を繋げた略語となります。日本語訳としては「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と呼ばれています。そしてRYLAとは何かお話しします。

「リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい……」

14歳～30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムで、受講生が新しいスキルを学びながら、地域社会と関わり、個人的・職業的に成長できる機会です。

RYLAプログラムの目的は3つ挙げられます。

- ・若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献している若者を表彰すること。
 - ・若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育み、ロータリーを通じた奉仕の機会へと導くこと。
 - ・若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を実践すること。
- 要は若者にリーダーシップ研修を通して奉仕の心を育ませるということです。

次に、RYLAでできることです。地元で活躍する人や豊かな経験を持つ人たちと一緒にコミュニケーションや問題解決のスキルを磨くことが出来ると共に、学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見することができます。また、地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高める講演、仲間との交流を通じた学び、自分の可能性を発見し行動へとつなげること、そして楽しみながら生涯続く友情を培うことができます。このRYLAのプログラムはRI提唱のプログラムなので、ここまでお話しした内容は世界共通のコンセプトとなります。

RYLA委員会の役割ですが、ここからは、第2760地区のRYLAという部分が大きくなっています。結論から

申しますと「若い人々が考える環境を提供すること」であります。RYLA 委員会メンバーはカウンセラーとしてヤングカウンセラーと共にセミナーを進めますが、受講生に対して決して私たちの考えを押し付けたり、結論を導き出すことはしません。受講生自身が答えを見付けることがこのセミナーの素晴らしさでもあります。

では我々、ロータリアンは何ができるのでしょうか。それは「何ものをも求めず、ひたすら未来のために種を蒔くこと」であります。RYLA セミナーで蒔いた種が若者たちの心に、いつか芽生えるかもしれない。我々は例え芽が出なくても、結果を求めず、ただひたすらに種を蒔き続け、そして未来に夢を託すことが大切だと思っております。

これは第 32 回の RYLA セミナーの映像です。昨年度は受講生総数が 90 名でした。ここ数年、コロナ禍の影響を受け、受講生が少ない中でセミナーを行っていましたが、第 29 回の 63 名からかなり戻ってきている印象です。昨年度については、キャンプファイヤーやカレー作りは基本的にはそのままに、但し、一昨年の反省を活かし、片付け等を滞りなくできるための工夫を取り入れました。雨が降らなかったとか、細かい工夫とか他にもあるのですが、大きく例年と違う点が一つあります。基調講演に関して、講師による講演ではなく、演劇を用いた公演といたしました。聖霊高等学校の演劇部さんにオリジナルのリーダーシップに関する演劇を上演して頂きました。「受講生の皆様に、頭で考えるのではなく、五感で感じて頂く」ということに挑戦した形です。受講生全員から感想文を頂いているのですが、多くのことを感じて頂いたようで、感じたことを上手に文章で表現されていました。さすか各クラブさんから推薦を受けた方々の集まりだなと感じました。

RYLA 学友、現在 25 名在籍しておりますが、インターアクト経験者・現役メンバー、ローターアクト経験者・現役メンバー、青少年交換経験者、米山奨学生のメンバーも在籍し、ロータリアンとしても活動していたメンバーもいます。学友からロータリアンになられた方もいます。

彼らは組織の活動目的、方針、予算を定め、RYLA セミナーだけでなく地区大会をはじめロータリーにおける青少年奉仕の様々な事業に出席しております。RFF にも毎年、RYLA 委員会と一緒にブースを出して、こども向けの工作など楽しくふれあう機会を提供しております。他地区と比較しても 2760 地区の学友会の積極的な取り組みは高い評価を受けているようで、昨年度福島県で開催された第 16 回全国 RYLA 研究会では、当地区の RYLA 学友会の荒木会長に報告の機会が与えられ、荒木さんも立派に発表されておりました。

我々がセミナーを開催するにあたり、学友会の皆様のごこと、大切な頼もしいパートナーであると心から思っております。

それでは、だんだんとまとめて入ります。「私の考える RYLA 委員会の役割」。まずは受講生、RYLA 学友に向けてのものです。RYLA セミナーに受講生として参加する、RYLA 学友として、企画・設営・運営に携わるという中で、まず一つ目、「価値観の多様性、視野を広げることの大切さを伝える」。自分の思いと他者の思い、一緒に一つの目的を定めて形にして実践するにはコミュニケーションは大事です。何かを成しうるためのコミュニケーション、即ちリーダーシップ。この視点で考える癖を若いうちから習慣づけていくことが将来の財産になると私は信じています。二つ目、「大人として扱い決断と行動には責任が伴うことを教える」。何かを成し得るためには信頼関係は大事です。その気づきを得て頂くために結果としてリーダーシップ研修の場では大人として扱うこととなります。三つ目、「あきらめない心の大切さを伝える」。何かを成しうるために必要なもの、最終的には根性とか思いの強さなのかもしれないです。そして四つ目、「未来のロータリアンを育てる」。セミナー修了生や RYLA 学友が近江商人のいう三方良しとか、4 つのテストとか、高潔な心を持って、関わる人が幸せとなるような人物になり、周囲に幸福を与える会社を作り、未来のロータリアンとなってくれば、これほどうれしいことは無いと思っております。

「私の考える RYLA 委員会ですら得られること」。こちらはロータリアンに向けてとなります。縁があつて地区 RYLA 委員会に出向して 6 年目です。地区内外のロータリアン、それ以外、様々な方と関わりを持ちながら、委員会活動に参加させて頂いております。

内側と外側とその間という視点でお話いたします。まず、奉仕の仲間から得られることです。目的を同じにする違う立場の仲間たちとの調和の心を学べるということが挙げられます。目的に対して、それぞれ各自や集団に思いがあります。各委員、チーム、委員会、各学友、学友会、ガバナー、地区役員。それぞれの心から生じる思いを交換しあい、活動による目に見える貢献というものや、お互いのリスペクトの心といったものを得られます。

次に、奉仕活動をするということは、必ず、受益者というものが存在します。RYLA セミナーでいえば受講生が第一の受益者であると思っております。次に RYLA 学友。RYLA 委員や各クラブの会員さんも考え方によっては受益者なのですが、こと RYLA セミナーに関しては、受講生のことを考え行動することによって得られたものが副次的に自分自身のためになるといった形と思っております。奉仕の受益者に対しては、基本、無償の愛が重要だと思っております。打算の心を愛情でコントロール。少々略していますが、気になられた方は、2680 地区のバスターガバナーであられた故深川純一先生のお言葉を採って頂ければ幸いです。

もう一つ、このようなセミナーを企画・実施するにあたり、外部の協力者というのが多岐にわたります。有償・無償はある意味関係ないです。ご協力頂いてい

るということには変わらないので。自分の心がけ一つで外部の方から与えて頂けるものの質は変わってくる。心から協力したいというのと、やっつけ仕事。前者を引き出すには自分がどうすれば良いのか。なかなか答えが見つかるようなものではないですが、少なくとも、それに挑戦するにあたって必要な忍耐力を鍛えることができるというところまでは保証できる第2760地区のRYLA委員会だと信じています。

これらのこと、まとめていくと、近江商人の三方良しや4つのテストでいわれている心がけみたいなもの、それを実践的に学べる場ということでもあると思っています。最終的には自分の人生の糧になると思っています。

それでは最後に今年のセミナーの話をして頂きます。第33回地区RYLAセミナーは昨年同様、2回に分けておこないます。まずはセミナー1を3月1日にオンライン形式にて開催します。そしてセミナー2を3月29日～30日に豊田市福祉センターにて行います。今回のテーマは「持続可能な未来のために」です。今年は、セミナー2で実践的な成果物をチームで作るという体験を受講生にして頂くことを重視しております。それに伴いセミナー1は、セミナー2に向けた準備という色合いが強くなる内容となる予定です。基調講演に関しては、萩原喜之氏を予定しております。様々な具体的な活動をされている方です。愛・地球博では県民参加のリーダーをされたとのことです。今年には田中さんと私、一緒に第4分科会のカウンセラーを受け持ちます。受講生にとって得るものがあるよう、二人三脚で頑張っています。今年のセミナー募集は締め切りとなりましたが、次年度もやると思うので、受講生のご推薦をよろしく願いいたします。



【池田 宣明 君 入会セレモニー】



入会おめでとうございます!!

米山奨学生 レゴック シュアン クインさんに
奨学金をお渡ししました。



1月のお祝い

★配偶者誕生祝

笠井保志 君 夫人 啓子 さん
久米健史 君 夫人 悠 さん
早川博也 君 夫人 育美 さん

★結婚記念祝

久米健史 君

★入会記念祝

尾崎三枝子 君 久米健史 君

★創業記念日

早川比呂太 君 田中三千雄 君 久米健史 君

★出席100%家族協力賞

尾崎三枝子 君 久米健史 君

今週の献立

【愛】

